

# 『国際化時代と「地域農・林業」の再構築』

井口隆史 編著，日本林業調査会，2009年12月

はしがき .....	3
序章 国際化時代と「地域農・林業」の再構築 井口 隆史 .....	15
はじめに .....	15
1. 21世紀の諸問題と日本の対応 .....	16
(1) 気候変動問題と日本の取り組み .....	16
(2) 日本が方向転換を必要とする諸問題について .....	18
(3) 21世紀の地球環境問題と日本の対応 .....	20
2. 地球環境問題の考え方と取り組み方 .....	21
(1) 基本的な考え方 .....	21
(2) 日本とスウェーデンの取り組み方 .....	23
3. 「グローバリゼーション」と日本の農・林業の方向 .....	24
(1) 農業の2つの方向 .....	24
(2) 林業の2つの方向 .....	28
(3) 地域農・林業の今後の方向 .....	31
4. 循環型社会における日本の地域農・林業の今後の方向 .....	37
(1) 循環型社会と農・林業 .....	38
(2) 日本の第一次産業の変貌と今後の方向 .....	39
5. 地域農・林業の再構築について .....	42
(1) 日本とスウェーデンの相違点 .....	42
(2) 基本的考え方 .....	44
(3) 受動的対応から自立的主体形成へ .....	44
(4) 地域の合意による自治体内の目標設定 .....	45
6. 農・林業技術の開発と普及について .....	50
(1) 農業技術 .....	50
(2) 林業技術 .....	51
(3) 複合経営技術の模索 .....	52
7. 農・林業を中心とする循環型社会の全国展開は実現可能か .....	53
8. 農山村における自給農・林業の力とその持つ意味 .....	55
おわりに .....	57
●コラム四月「山笑う」 鹿取 悦子 .....	64
第一部 持続可能な森林・林業の条件	
第1章 貿易問題を考える 泉 英二 .....	67

はじめに .....	67
1. 『林業』は衰退していいのか.....	70
2. 人工林による扶養力とその直面する課題.....	73
3. 世界経済システム変革の狼煙をあげよ！.....	75
4. 貿易理論の再検討.....	78
(1) 地球環境絶対制約下における日本の国際森林・林業政策.....	78
(2) 地球環境絶対制約下における「貿易」、「林産物貿易」.....	79
(3) 比較生産費説の批判的検討.....	81
(4) 為替レート論.....	82
(5) WTO .....	83
(6) 貿易と環境.....	84
(7) 今後われわれが提起すべき方向.....	84
おわりに .....	85
追 記 .....	86
●コラム五月「田んぼ」 鹿取 悦子.....	89
第2章 現段階における森林所有者と森林組合 枚田 邦宏.....	91
はじめに .....	91
1. 森林・林業基本法における森林管理の担い手.....	91
2. 森林整備地域支援交付金制度の概要と鹿児島県における現状.....	94
(1) 森林整備地域支援交付金の概要.....	94
(2) 鹿児島県の取り組みの現状.....	95
3. 森林所有者と森林組合との新たな関係の構築.....	98
4. 森林組合による林業労働力の組織化の現状.....	100
(1) 鹿児島県の森林組合の新規雇用方法.....	100
(2) 作業班の雇用形態及び組織編成とその管理方法.....	102
(3) 作業班組織編成と管理.....	105
5. 新たな状況における森林組合職員に求められるもの.....	107
(1) 「森林施業実施技術者」.....	107
(2) 「森林施業管理（組織）技術者」.....	107
(3) 森林組合経営の幹部技術者.....	108
まとめ .....	110
●コラム六月「鮎釣り」 鹿取 悦子.....	112
第3章 日本林業の可能性 川村 誠・坂野上 なお・長谷川 正.....	113
1. 問題の所在.....	113

2.	第1次イノベーションと「60年代モデル」	114
(1)	イノベーション前史	114
(2)	集材機革命	115
(3)	市売市場と「日本型流通システム」	116
(4)	第1次イノベーションの特徴	124
3.	「非」架線集材の先駆的試み	126
4.	真庭・津山地域の車輛系システム	127
(1)	車輛系システム、それは“クローラ・ダンプ”に始まった	127
(2)	真庭・津山地域における車輛系システムの展開	129
(3)	MCD方式のイノベーション特性	134
(4)	システムイノベーションへの課題	136
5.	小規模分散型林業の可能性	138
(1)	オルターナティブへの道	138
(2)	スモール・スケールとイノベーション	139
●	コラム七月「祇園さんと新住民」 鹿取 悦子	146
第4章	林業の担い手の将来展望 藤原 三夫	147
	はじめに	147
(1)	課題の設定	147
(2)	地球の温暖化	148
(3)	人口の減少と高齢社会の到来	149
(4)	経済のマイナス成長と地域社会の変貌	150
(5)	林業に要求されるもの	150
1.	自治体の林業労働力需給見通しと担い手育成方策	151
(1)	愛媛県内地域別人口・森林・林業の現況	151
(2)	自治体による林業雇用の現状認識と林業労働力需給の見通し	156
(3)	自治体における林業担い手確保の基本方針	158
(4)	簡単なまとめ	160
2.	林業事業者における林業労働力確保方針と施策への期待	161
(1)	林業事業者における雇用と求人現状	161
(2)	林業事業者における林業労働力確保の方針	163
3.	林業担い手の将来展望	165
(1)	林業労働力確保の現状と見通し	165
(2)	誰が林業の担い手になるのか	167
第5章	地域が育てる専門技術者集団 鶴見 武道	171
1.	龍山村森林組合「指導班」の意義と特徴	171

(1) 龍山村森林組合「指導班」による先駆的試み.....	171
(2) 龍山村森林組合による指導班編成の画期性.....	173
2. 指導班経験者の構成と経験評価.....	174
(1) 指導班経験者に対する聞き取り調査の実施.....	174
(2) 龍山村森林組合指導班員の特徴.....	176
(3) 指導班活動の評価.....	178
(4) 地元コミュニティとの矛盾.....	180
3. 天竜フォレスター分離独立以後の成果.....	181
(1) 天竜フォレスターの分離独立とグリーン丸木の役割.....	181
(2) (有)天竜フォレスターの設立メンバーの経歴.....	184
(3) 天竜フォレスターの活動の推移.....	186
(4) 事業活動におけるコミュニティ的性格.....	189
4. (有)天竜フォレスターの評価.....	191
(1) 龍山村森林組合と(有)天竜フォレスターの関係.....	191
(2) コミュニティの形成と専門的作業組織の必要性.....	193

●コラム八月「グリーンツーリズム」 鹿取 悦子.....	198
------------------------------	-----

第6章 スギ並材産地の展開と地域格差 藤掛 一郎.....	199
はじめに.....	199
1. 製材工場規模と素材生産密度の相互規定.....	202
2. 産地モデル.....	206
(1) 製材工場規模関数.....	207
(2) スギ素材需要関数.....	208
(3) 素材供給関数.....	208
3. モデルの推定.....	210
4. 地域格差.....	215
おわりに.....	219

●コラム九月「旬の食べ物」 鹿取 悦子.....	224
--------------------------	-----

## 第二部 農山村のオルタナティブな将来設計に向けて

第1章 焼畑と農林業 荻 大陸.....	227
1. 農産物食品の劣化.....	227
2. 焼畑農産物の高品質性.....	229
3. 焼畑と農業・林業.....	231
(1) 農業が焼畑に学ばねばならぬこと.....	231

(2) 林業が焼畑に学ばねばならぬこと.....	233
4. 焼畑への誤解.....	236
5. 熱帯林減少と農業.....	237
6. 森林と農業をめぐる問題.....	241
●コラム十月「地区対抗の運動会」 鹿取 悦子.....	245
第2章 共有山の森林管理と地域 具 滋仁・伊藤 勝久・井口 隆史.....	247
はじめに .....	247
1. 「共有の性質」の変遷過程と現在.....	248
(1) 入会林野と所有権.....	248
(2) 組合の場合.....	249
(3) 任意組織の場合.....	256
(4) 財団法人の場合.....	256
(5) 事例調査組織における共有の性質.....	257
2. 林野の管理・利用形態の変遷と現在.....	259
(1) 入会林野の共同管理・利用.....	259
(2) 個別的共同利用の変遷.....	259
(3) 団体的共同利用の変遷と現在.....	261
(4) 林野からの収入と支出.....	262
3. 管理組織の運営実態と地域活動.....	264
(1) 共有山の管理主体.....	264
(2) 役員などの選出・意思決定方式など.....	264
(3) 事務室と運営費.....	265
(4) 現在の活動と地域社会との関係.....	266
まとめ .....	267
第3章 農山村の経済循環構造 山本 伸幸.....	275
1. 問題の所在.....	275
2. 農山村の経済循環構造.....	276
3. SAM (社会会計行列) .....	278
4. SAM を用いた農山村の経済循環構造の表章 .....	279
5. 環境セクターへの拡張.....	284
6. 今後の展望.....	288
第4章 グローバリゼーションと日本の農林業 伊藤 勝久.....	295
はじめに .....	295
1. 日本における農林業の現段階.....	296

2.	日本における農林業の価値認識の変化.....	301
3.	グローバリゼーションのもたらしたもの.....	305
4.	農林業の復興.....	309
●	コラム十一月「山里の秋」 鹿取 悦子.....	312

### 第三部 中国西部の森林破壊・砂漠化への取り組み

第1章	中国西部における自然資源の過剰利用 松島 昇.....	315
	はじめに .....	315
1.	乏しい森林資源と造林活動.....	316
	(1) 辺境西部の脆弱な自然環境と少数民族居住地域.....	317
2.	寧夏における砂嵐（黄塵）.....	318
	(1) 生態系区分としての万里の長城.....	319
	(2) 流動砂丘.....	320
	(3) 乾燥地造林保護の問題、放牧規制.....	321
	(4) 先駆的造林グループと放牧農民との対立.....	322
3.	青海省、環西寧圏における過剰放牧.....	323
	(1) 環西寧圏の草地の半分近い劣化草地.....	324
	(2) 草生産量の2倍、3倍の放牧頭数.....	325
	(3) 過剰放牧による青海湖の水質汚染.....	326
4.	四川省涼山州安寧河流域の治山問題.....	327
	(1) 治砂と治山.....	327
	(2) 涼山州、余りに多い荒廃裸地.....	328
	(3) 地域間、民族間の農業収入格差.....	330
	(4) 薪柴利用の地域格差.....	333
	(5) 異常に枝を打ち上げられた雲南松.....	334
	(6) 彝族の大きな教育男女格差、教育格差のない漢族.....	335
5.	大きな社会的格差の所産としての自然資源過剰利用.....	336
	(1) 東西格差、都市・農村格差.....	336
●	コラム十二月「狩猟」 鹿取 悦子.....	339
●	コラム一月「増えた有害鳥獣」 鹿取 悦子.....	340
第2章	中国西部における生態移民による農業経営 胡 霞.....	341
1.	集落移転の背景と目的.....	341
2.	天水農業経営の実態とその限界.....	343
	(1) 五道嶺子村の自然条件と農業経済.....	343

(2) 天水農業経営の実態.....	344
(3) 低水準の伝統的農業の資材投入構造.....	346
(4) 農家の収入構造.....	347
3. 集約的農業経営の展開とその問題点.....	348
(1) 移住先である河西郷および新五道嶺子村の農業立地条件.....	348
(2) 集落移転前後の農業経営方式の変化.....	349
(3) 移転前後の収入構造の変化.....	353
(4) 移転後の問題点.....	355
4. 西部大開発の中での生態移民村の新しい問題.....	356
(1) 12年後の旧五道嶺子村.....	356
(2) 12年後の新五道嶺子村の変化.....	360
おわりに.....	364
●コラム二月「雪」 鹿取 悦子.....	367
●コラム三月「有害鳥獣対策」 鹿取 悦子.....	368
<b>あとがき.....</b>	<b>369</b>
<b>編著者・執筆者紹介.....</b>	<b>372</b>